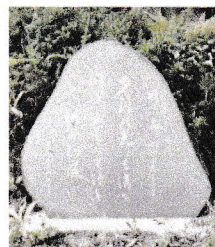
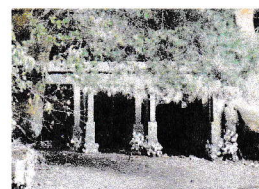


### 【川添森・蛇淵】

小泉川下流のヨシ原を地元の人は蛇淵（じゃぶち）と呼んでおり、ここにはポンプ場（排水機場）があります。ポンプ場ができる以前は、腰まで浸かるような田んぼの水を排水すると同時に、松川浦の塩水が水田に入らないようにと工夫された自動排水開閉門が設置されていたそうで、今はコンクリートの杭だけが残っています。



（歌碑 6：川添森）



（自動排水開閉門）

松川浦十二景に詠われた「川添森」の景観は遠い昔のことだ。今では面影もなく、川添森の歌碑はポンプ場西側の道路脇にひっそりとたたずんでいます。

### 【百間橋・宇多川・小泉川】

宇多川と小泉川の両方に架かる、長さ約 247 メートル、幅約 8 メートルの橋で、昭和 51 年（1976）に架設されたそうです。

宇多川は霊山（標高 825 メートル）を源とし、宮城県丸森町と相馬市を流れ松川浦に注ぐ全長 42.6 キロメートルの二級河川だ。小泉川は天明山（標高 488 メートル）を源とし、松川浦に注ぐ 13.4 キロメートルの二級河川です。

天明 4 年（1784）以前の宇多川は、岩子の南側を流れていたようですが、天明 3～4 年の大水害によって岩子の北側を流れるようになったようです。さらに、百間橋の下流で北向きに流れ、川添森の下で小泉川と合流していたそうで、今でも名残りの窪地があるそうです。



（築場の設置作業）

秋になると、相馬地方の川に鮭が遡上してきます。宇多川では百間橋の下流にヤナ場を設置して、10 月中旬からヤナ漁をしています。鮭を捕獲し、卵を採りふ化させています

はげっ子倶楽部では、宇多川探検をやっています。昨年は源流を探検し、今年の春は中流の探検をしました。来年は宇多川と中村城の関連を探検する予定です。皆さんお待ちしています。

### 【晴風荘】

松川浦の奥座敷と言われる岩子に建つ 5 階建ての旅館が晴風荘だ。震災前の松川浦ウォーキングでは大いにお世話になった所だ。ラッシュウム温泉の大浴場もあり、日帰り入浴ができるそうだ。



（晴風荘）

晴風荘の北側、宇多川河口は野鳥観察にはもってこいの場所だ。河口から浦内に広がる干潟にはシギ・チドリ類の旅鳥やサギ類、ガン・カモ類、通年見ることができカイツブリ、カルガモ、ウなど多種多様の野鳥がやってくる。特に冬の河口では 1000 羽単位の野鳥を見ることができますよ。

はげっ子倶楽部では野鳥観察会もやっています。



（野鳥観察会）